

特定非営利活動法人

建築設備コミッショニング協会

(Building Services Commissioning Association)

第13期通常総会資料

【1】法人の概要

【2】議事資料

第1号議案「第13期事業報告及び収支決算に関する事項」

第2号議案「第14期事業計画(案)及び予算(案)に関する事項」

第3号議案「役員改選に関する事項」

【3】報告事項

日 時：2017年5月10日（水）13:30～

場 所：中央大学駿河台記念館 285号室



特定非営利活動法人
建築設備コミッショニング協会

【1】法人の概要

名称：特定非営利活動法人 建築設備コミッショニング協会
(Building Services Commissioning Association, BSCA)

設立日(設立総会) : 2004年3月19日
法人成立(内閣府) : 2004年8月9日
法人登記完了 : 2004年8月25日
名古屋事務所登記 : 2004年9月1日
事務所登記変更
従たる事務所設置
東京 : 2007年6月26日
京都 : 2007年6月26日
主たる事務所移転 : 2007年6月28日
従たる事務所移転
兵庫 : 2010年5月19日
主たる事務所移転 : 2013年5月15日
従たる事務所廃止 : 2013年5月15日
主たる事務所移転 : 2015年7月7日

役員

理事長 吉田治典
副理事長 赤司泰義、柳原隆司、山羽 基
理事 大森一郎、岡 敦郎、岡本利之、熊谷 雅彦、鯉淵 正、須山喜美、高瀬知章、吉田新一
監事 高草 智、高橋直樹

会員数 (2017年3月31日現在)

個人正会員 213名 (内 特別会員5名)
賛助会員 39団体 (内 大学 6校)

委員会組織

- ・企画・運営委員会：協会運営、普及啓発戦略立案、講演会・シンポジウムの企画、広報活動、会員増強等
- ・認証検討委員会及び資格判定委員会：資格制度検討、資格研修会・講習会運営、資格認定、資格登録
- ・事業委員会：研究調査、先導的コミッショニング事業受託
- ・技術委員会：技術支援、コミッショニングプロセス・ツール研究

賛助会員一覧 (2017年3月31日現在)

財団法人

建築技術教育普及センター、ヒートポンプ・蓄熱センター

企業

アズビル、アレフネット、エネゲート、エム・ティー・ディー、大阪ガス、大林組、関西電力、
関電エネルギーソリューション、九電工、きんでん、三機工業、三建設備工業、三晃空調、
ジェイアール東日本ビルテック、新日本空調、新菱冷熱工業、ソーワエンジニアリング、
ダイキン工業、大成建設、ダイダン、高砂熱学工業、中部電力、東京ガス、
東京電力エナジーパートナー*、東京都市サービス*、東邦ガス、日建設計総合研究所、日本設計、
日本ファシリティ・ソリューション、三菱地所設計、三菱重工業(五十音順)

大学

京都大学、東京大学、名古屋大学、中部大学、立命館大学、神戸大学*(入会順)

* : 2016年度新規会員を示す。

【2】議事資料

第1号議案「第13期事業報告及び収支決算に関する事項」

事業報告(2016年4月1日から2017年3月31日まで)

1. 事業の成果

人材育成事業としては、昨年度、毎年開催している性能検証技術者(CxPE)の資格研修会をこの新マニュアルと新制度のもと大阪で開催し、15名の受講者全員が資格試験に合格した。現在、CxPEの総計は66人で、合格者が全員登録すれば81人となる予定である。なお、この研修会は、本協会が昨秋発刊した建築設備コミッショニングマニュアルを用い新たなカリキュラムで実施した。性能検証専門技術者(CxTE)の講習は、10月に大阪で、11月に東京で開催した。会員外の受講者も含めて合計34名(関西15名、東京19名)が受講し、該当者にはCxTEの講習修了証を授与した。CxTEの技術者登録制度には、現在58名の登録がなされている。一昨年5月に開始したコミッショニングを業務として実施する組織(CxF: Commissioning Firm)の登録制度には現在8社が登録している。

性能検証普及事業としては、本年1月に「コミッショニング研究会 in 中部」、同2月に東京で地中熱利用促進協会との共同主催で「地中熱利用システムのコミッショニング in 東京」、同3月には京都で「Cx事例紹介シンポジウム in 関西」を開催した。シンポジウムでは、当協会が直接、間接に関与した特色のあるコミッショニングの事例紹介を中心に事例を紹介し、Cxの必要性、あり方、将来性、課題などについて討議した。また、昨年9月には空気調和・衛生工学会鹿児島大会(鹿児島大学)の展示ブースへの出展を行い、当協会会員や関連学協会会員・一般市民を対象として、コミッショニングプロセスおよびコミッショニング技術の普及広報活動を実施した。日本建築学会主催のシンポジウム、ヒートポンプ・蓄熱センターの蓄熱技術研修会およびヒートポンプ活用セミナーなど、他団体が開催するコミッショニングに関わる3件のシンポジウムを後援した。

会員への情報伝達に関しては、例年通りニュースレターを月1回発行した。ホームページを活用して積極的に情報発信するため、その機能や構成を充実し、2017年2月には日英ブログを更新した。コミッショニングに関する国際活動としては、沖縄の米軍施設部が主催したSAME会議から当協会が招待されたのでBSCAの活動並びにCx技術者の資格体系を英語で発信した。

当協会の基盤拡充と社会活動充実のため賛助会員の増加に努めた。昨年度は、新規の個人会員が25名増加、賛助会員には新たに2企業、1大学(東京都市サービス、東京電力エナジーパートナー、神戸大学)が加わった。

普及活動として次の2件は特筆したい成果である。1件目は、経済産業省のいわゆる省エネ補助金においてコミッショニングの導入を評価項目の対象とする方策について経済産業省から意見交換求められ、結果として、提出した意見や文書例を参考にして制度設計がなされ実際に補助金事業の採択がなされたことである。2件目は、当協会が設計フェーズのコミッショニングに協力した長崎県庁の機能性能確認フェーズのコミッショニング業務発注が公募され本年2月末に当協会のCxFの中から一社が採択されたことである。これらは社会にコミッショニングをビジネス展開させる当協会の努力が実った成果といえる。

調査研究・技術支援事業としては、空気調和・衛生工学会のコミッショニング委員会で学会活動と連携してコミッショニング技術の整備に貢献した。また、当協会の技術委員会は地中熱利用促進協会と連携して、地中熱システムのコミッショニングについて研究・開発活動を行った。なお、次年度から技術委員会は新たなテーマで研究・開発活動を行う。

基準制定・検証事業としては、昨年9月にほぼ3年におよぶ本協会発行の建築設備性能検証マニュアルの改訂作業が終了し、11月には建築設備コミッショニングマニュアルとして販売を開始した。先導的なコミッショニング事業の受託として、京都駅ビルの熱源・空調システム改修工事の施工フェーズに引き続き、機能性能試験確認フェーズに関する業務を受託し遂行中である。一昨年受託した沖縄科学技術大学院大学の空調設備システムに関する既存ビルコミッショニング事業について、引き続き調査フェーズ(初期)の業務を受託し成果報告書を提出した。また、新たに神奈川近代美術館葉山館の既存ビルコミッショニング事業を受託し調査と改善提案作業を実施した。

事務局WGでは、引き続き事務局体制の整備をおこない事務処理を順次マニュアル化し事務作業の基盤整備と合理化を継続して進めている。

2. 事業実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業（非営利活動）

| 事業名 | 事業内容 | 実施月日 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 収支額（単位：円） | | |
|--------------|---|------------------------------|----------------------|----------------|-----------------|-----------|-----------|-------------|
| | | | | | | 収入 | 支出 | |
| (1) 人材育成事業 | (1) セミナー開催等による性能検証に関する人材育成事業 | | | | 会員、市民、建築関係者 | 3,258,748 | 2,852,724 | |
| | シンポジウムや意見交換会・講演会を開催し、性能検証に関わる人材の育成と情報を提供するために下記を実施する。 | | | | | | | |
| | a) | CxPE 資格研修会 | 2016/12/16 ～12/17 | 堂島リバーフォーラム | 12名 | | | 15名 |
| | b) | CxTE 講習（関西） | 2016/10/14 | 堂島リバーフォーラム | 8名 | | | 15名 |
| | | CxTE 講習（東京） | 2016/11/11 | NSRI ホール | 7名 | | | 19名 |
| | c) | 総会付帯講演会 | 2016/5/13 | 中央大学 駿河台記念館 | 10名 | | | 31名 |
| | d) | Cx 事例シンポジウム・Cx 研究会（東京・関西・中部） | 2016/7/1 | 中部大学 三浦記念会館 | 10名 | | | 11名 |
| | | | 2017/1/20 | 中部大学 三浦記念会館 | 10名 | | | 8名 |
| | | | 2017/2/28 | 東京大学 工学部1号館 | 9名 | | | 95名 |
| | | | 2017/3/17 | 京都大学 百周年時計台記念館 | 16名 | | | 98名 |
| | e) | Cx マニュアル(CD)の頒布 | 2016/4 ～2017/3 | BSCA 事務所 | 3名 | | | 12名 12団体 |
| | f) | 技術交流会 | 2016/5/13 | 中央大学 駿河台記念館 | 10名 | | | 41名 |
| | | Cxに関心を持つ者の集い | 2016/9/15 | 鹿児島県鹿児島市 | 5名 | | | 47名 |
| g) | 認証検討委員会及び資格判定委員会活動 | 2015/4 ～2016/3 | BSCA 事務所他 | 10名 | — | | | |
| h) | 空気調和・衛生工学会北海道支部との共催ワークショップ | 2016/10/7 | 北海道大学 学術交流会館 | 4名 | 50名 | | | |
| i) | 建築エネルギー懇話会 京都駅ビル見学会（Cxプロジェクト発表） | 2017/2/2 | ホテルグランビア 京都 | 3名 | 80名 | | | |
| (2) 性能検証普及事業 | (2) 会誌・ホームページ等による性能検証普及事業 | | | | 会員、市民、建築関係者、不特定 | 0 | 1,232,780 | |
| | 定期的に会誌やホームページによる広報を行い、最新情報を提供するため下記を実施する。 | | | | | | | |
| | a) | ホームページの整備充実 | 2016/4 ～2017/3 | BSCA 事務所他 | 4名 | | | 約1000名 |
| | b) | コミッションングレターの発行 | 2016/4 ～2017/3 | 事務局 | 30名 | | | 約180名 |
| | c) | 空気調和・衛生工学会大会ブース出展 | 2016/9/14 ～9/16 | 鹿児島大学 | 10名 | | | 約100名 |
| d) | 企画・運営委員会活動 | 2016/4 ～2017/3 | BSCA 事務所他 | 21名 | — | | | |

| 事業名 | 事業内容 | 実施月日 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 収支額（単位：円） | | |
|-----------------|---|---|--------------------|-----------------------|-----------------|------------|------------|-------|
| | | | | | | 収入 | 支出 | |
| (3) 調査研究・技術支援事業 | (3) 性能検証に関する調査研究及び技術支援事業 実施マニュアルやツール等の整備を進め、同時に会員や一般市民への支援・広報を行う。 公共的機関より性能検証、コミッショニング過程に関する調査・研究業務を受託し、人材育成と基準文書整備に活用する。 | | | | 会員、市民、建築関係者、不特定 | 0 | 124,044 | |
| | a) | 海外調査 | 2016/11/7 ～11/8 | 沖縄 | | | | 3名 |
| | b) | 技術委員会活動 | 2016/4 ～2017/3 | 東京大学 | 5名 | | | 建築関係者 |
| (4) 基準制定・検証事業 | (4) 性能検証基準の制定及び性能検証事業 マニュアル類の更なる向上と普及とを目指して、会員や一般市民等のための性能検証を実施する。 | | | | 会員、市民、建築関係者、不特定 | 33,408,480 | 27,390,053 | |
| | a) | 建築設備性能検証マニュアル改訂WG | 2016/4 ～2016/8 | 東京 | | | | 16名 |
| | b) | 京都駅ビル熱源・空調改修工事の新築Cx業務(施工フェーズ) | 2015/1 ～2016/8 | 京都駅ビル開発他 | | | | 12名 |
| | c) | 京都駅ビル熱源・空調改修工事の新築Cx業務(機能性能確認フェーズ) | 2016/8 ～2017/9 | 京都駅ビル開発他 | | | | 12名 |
| | d) | 京都駅ビル拉麺小路空調換気改修工事Cx業務 | 2016/5～8 | 京都駅ビル開発他 | | | | 12名 |
| | e) | 沖縄科学技術大学院大学研究棟・センター棟の既存Cx調査フェーズにおける性能検証業務 | 2016/9 ～2017/3 | 京都リサーチパーク・メルパルク京都貸会議室 | | | | 6名 |
| | f) | 神奈川県立近代美術館葉山館の空調熱源システムに関する既存Cx業務 | 2017/1 ～2017/4 | 神奈川県立近代美術館葉山館他 | | | | 3名 |
| | g) | 事業委員会活動 | 2016/4 ～2017/3 | BSCA 事務所他 | | | | 12名 |

(2) その他の事業（営利事業）

| 事業名 | 事業内容 | 実施月日 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 収支額（単位：円） | |
|----------------------|---------------------|--------------------|------|--------|-----------------|-----------|----|
| | | | | | | 収入 | 支出 |
| (1) 会誌・ホームページ等への広告掲載 | 会誌やホームページへの広告の募集を企画 | 2016/4/1～2017/3/31 | 事務局 | 2名 | 会員、市民、建築関係者、不特定 | 0 | 0 |
| (2) 出版事業 | 出版物の発刊を企画 | 2016/4/1～2017/3/31 | 事務局 | 1名 | 会員、市民、建築関係者、不特定 | 0 | 0 |

3. 事業の概要

(1) 人材育成事業

a) CxPE（性能検証技術者）資格研修会

2009年より開始しているCxPEの資格認証を、今年度から資格試験制度・登録制度に改め、2016年12月16日～17日に大阪にて開催し、受講者15名全員を修了試験合格と判定した。2017年4月現在、新規合格者の登録手続き中であるが、新規合格者15名が登録すれば、2017年4月において、CxPE登録者は総計81名である。

b) CxTE（性能検証専門技術者）講習（関西、東京）

2016年度で5回目となる講習会を、10月に関西（受講者15名）、11月に東京（受講者：19名）で開催し、合計34名にCxTE講習の修了証を授与した。また、2016年度に新たにCxTE登録された会員は5名、累計で58名となった。

c) 総会付帯行事を兼ねた講演会（2016年5月 東京）

中央大学駿河台記念館において、通常総会を開催するとともに講演会を実施した（参加者47名）。講演に先立ち、建築学会大賞を受賞された中原信生 名誉会長にご挨拶いただいた。講演では、千葉大学グランドフェロー川瀬貴晴氏（元千葉大学大学院教授）に「これからの建築省エネルギー化と計測のあり方」、経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部省エネルギー対策課長辻本圭助氏に「省エネ政策の動向 2016年以降の展開」と題してご講演頂いた。なお講演資料は、会員のみでの公開とし、当協会ホームページに掲載した。

d) Cx事例シンポジウム・Cx研究会の開催

1) コミッショニング研究会（中部）

中原信生名誉理事長を講師として中部大学三浦記念会館にて2016年7月1日に新築建物のコミッショニングについて、プロセスモデルとコミッショニングフィーに話題を絞りYビル、N病院の事例について、そのあり方や現状の問題・課題を11名で議論を行った。

第2回研究会として2017年1月20日に、協会元理事である松田則雄氏を講師に招き、「Cxプロセス形成史と今後 ー指針制定以後のCxプロセス形成史を振り返って今後の展望を考えるー」をテーマに研究会を開催し8名の参加者と議論を行った。

2) 2017年 BSCA シンポジウム 地中熱利用システムのコミッショニング (東京)

当協会では、従来から日本における Cx プロセスの開発と普及に取り組んできたが、最近では Cx を研究する段階から Cx をビジネスとする段階に移行してきている。Cx ビジネスには、太陽光発電、自然換気、潜熱分離空調、放射空調、自動制御といった具体的な先進システムにフォーカスした Cx の方法論が必要である。

BSCA は地中熱利用促進協会と 2014 年春から 3~4 回/年の技術的な交流を推進してきた。本シンポジウムでは、地中熱利用システムのコミッショニングについて、知見を保有している研究者・実務者からの「コミッショニングにおける機能性能試験」、「地中熱利用システムのコミッショニング」についての講演と、参加者 (95 名) を交えたディスカッションを行った。

3) Cx 事例紹介シンポジウム (関西)

当協会では、昨年度からコミッショニング業務が独立した事業として社会に受け入れられることを目指し、当協会のコミッショニング事業者 (CxF : Cx Firm) 登録を行っている組織や CxPE 資格者または CxTE 登録者が携わった Cx 事業の実施事例を発表してもらうシンポジウムを開催している。今年度は、2017 年 3 月 17 日に、京都大学百周年時計台記念館・国際交流ホールで開催し、BSCA が受託している先導的コミッショニングプロジェクト事例二件 (京都駅ビル熱源・空調改修の新築コミッショニング、沖縄科学技術大学院大学の既存コミッショニング)、ならびに ESCO 事業に Cx プロセス技術を適用した事例 (京都大学 iPS 細胞研究所 ESCO 事業のコミッショニング) の全三件の発表が行われた。本シンポジウムの参加者は、98 名であった。

e) Cx マニュアル (CD) の頒布

コミッショニングにおける体制や技術が著しく進化しているため、国内外の動向や技術に対応したマニュアルの改訂が必要と判断して 2014 年 1 月に作業を開始し、2016 年 8 月までの合計 11 回に渡るマニュアル改定委員会を経て、2016 年 11 月に新マニュアルを完成させた。昨年度は 5 部をデータで無償頒布したが、今年度は CD の販売を開始し 23 部頒布した。

f) 「技術交流会」と「Cx に関心を持つ者の集い」

総会に引き続き、賛助会員会を兼ねた「技術交流会」を開催した (参加者 40 名)。来賓の一般社団法人公共建築協会 時田繁常務理事の乾杯や中原名誉会長の挨拶の他、吉田理事が 2016 年度新たに登録された CxPE9 名のうち当日参加の 2 名へ登録証書を授与し、新 CxPE からは各自の抱負表明等も行われ、終始和やかに会員間で情報交流や交歓が図られた。

空気調和・衛生工学会大会の二日目 (9 月 15 日) 夕方、恒例の「コミッショニングに関心を持つ者の集い」を鹿児島市天文館「吾愛人 (わかぬ) 本店」にて開催した。15 回を迎える今回、飛び入り参加者 10 名を含む 47 名の参加者の下、コミッショニングの昨今や将来が語られ参加者間の情報交換や懇親が図られた。

g) 認証検討委員会及び資格判定委員会活動

1) 認証検討委員会

- ・ 第 5 回目となる CxTE (性能検証専門技術者) 講習会を 10 月に関西で受講者 15 名、11 月に東京で受講者 19 名に開催し、受講者全員に修了証を発行した。CxTE (性能検証専門技術者) 登録制度における新たな登録者は 5 名で、累計で 58 名となった。(CxTE 講習小委員会)
- ・ CxF (コミッショニング事業者) の認証登録は 8 社となっている。(CxF 登録小委員会)

2) 資格判定委員会

- ・ 2016年12月16～17日にCxPE研修会を実施した。実施に当たり、資格研修小委員会のメンバーが研修の体制や内容及び試験問題を決定し資料の作成を行なった。
- ・ 修会終了後は、速やかに採点会議とともにCxPE資格研修小委員会を開催し、採点を行なった。
- ・ CxPEについては、2017年3月に外部委員を交えた資格判定委員会を開催し、2016年度のCxPEの合否判定を行った。

h) 空気調和・衛生工学会北海道支部との共催ワークショップ

空気調和・衛生工学会Cx委員会・データマネジメント手法検討小委員会（2014～2016年度、主査：アレフネット・松下直幹）では、BEMSやデータロガー装置などのデータ収集装置ごとファイル書式や蓄積方法が異なるデータ群を標準化するための「Cxデータ共通形式」を提案するとともに、種々の形式のデータを共通形式に変換するツール（「Cxデータ共通形式変換ツール」）とこの共通形式データから、任意のポイントのデータを、任意の期間・データ間隔・集計方法を指示してCSVデータとして抽出するツールを開発し、当協会の管理するCxツールライブラリに公開した。

このCxデータ共通形式の概要の解説と開発したツールの使い方を体験するワークショップ（「Cxのためのデータマネジメント手法と開発ツール活用に関するワークショップ」）を本小委員会の幹事、北海道大学の葛隆生准教授（当協会個人会員）の所属する空気調和・衛生工学会北海道支部との共催で、2016年10月7日に北海道大学学術交流会館で開催し、28名の参加者を得た。

i) 建築エネルギー懇話会 京都駅ビル見学会

建築エネルギー懇話会が毎年実施している見学会において、2016年度は現在当協会が先導的コミミッションプロジェクトとして受託している京都駅ビルプロジェクトの成果を見学することになり、当協会が全面的に建物オーナーである京都駅ビル開発（株）をバックアップし、2017年2月2日に開催された。当日は、まず、京都駅ビル内のホテルグランヴィア京都の宴会場で、コミッションプロジェクトの概要説明、ならびに発注者、施工者、CMT（Cx管理チーム）のそれぞれの立場からみたCxの成果・効果について、本プロジェクトのCAでもある吉田理事長他3名で90分間の発表をし、その後、改修した実際の熱源・空調設備の約2時間の見学が行われた。参加者は80名であった。

(2) 性能検証普及事業

a) ホームページの整備充実

2014年度にホームページの全面改訂をし、2015年度からは、常に最新の情報にするためにホームページ制作会社と年間保守契約を結び、年2回の軽微な画面修正やCx事例ページの追加、ID、パスワードの変更などのセキュリティ対策などを行ってもらっている。また、当協会が契約しているクラウドサーバ会社のサービス変更に伴い、ホームページの移設及び確認作業を行った。

その他、2016年度の整備拡充としては、①昨年度に開設した投稿記事を日本語と英語で併記する広報ブログ（日英ブログ）のページに清華大学・王福林副教授、国土交通省国土技術政策総合研究所・宮田征門氏、BSCA理事の須山喜美氏の3名の投稿記事の追加掲載、②シンポジウムの配布資料を開催後1年間はシンポジウム参加者のみへの公開、一年経過したら自動的に一般公開する仕組みの構築、③Cxツールライブラリに、空気調和・衛生工学会・データマネジメント手法検討小委員会で作成された「Cx共通形式変換ツール（改訂版）」と「Cx共通形式変換データ抽出・演算ツール」を追加、などを行った。

b) コミッシュヨニングレターの発行

コミッシュヨニングレターは、主に会員に対する積極的な情報提供を目的として月1回の発行を継続した。昨年度も、毎月1日に計12回の発行を行った。CxPEよりの自由投稿も継続した。コミッシュヨニングに関わる有益な情報も会員に提供した。今年度からは、BSCA主催の研修会等の事業の担当者を明確にし、担当者から、会告としてレターに掲載するとともに、報告を行った。また、お知らせとして、新長崎県庁舎機能性能試験実施業務入札公告、ヒートポンプ・蓄熱センター主催蓄熱技術研修会などコミッシュヨニングにかかわる諸情報を会員に提供した。

c) 空気調和・衛生工学会大会ブース出展

2016年9月の空気調和・衛生工学会鹿児島大会における展示会で、例年どおり、本協会の概要・活動の紹介を最新情報に更新したタペストリーを展示した。このタペストリーは、CxTE講習会などでも活用した。

d) 企画・運営委員会活動

1) 広報活動

1-1) HP広報WG

- ・ ホームページを最新の状態に維持にすることと、トラブル時の対応要請を行えるように保守契約を行った。
- ・ 当協会の活動を国際的に発信する目的で2015年度に開設した日本語と英語で並列表記した広報ブログ（日英ブログ）のページに新たに清華大学・王福林副教授、国土交通省国土技術政策総合研究所・宮田征門氏、BSCA理事の須山喜美氏の3名の投稿記事を追加公開した。
- ・ シンポジウムの配布資料を開催後1年間はシンポジウム参加者のみへの公開、一年経過したら自動的に一般公開する仕組みを構築した。
- ・ 2015年度改良したツールライブラリのページに、空気調和・衛生工学会のデータマネジメント手法検討小委員会で作成された「Cx 共通形式変換ツール（改訂版）」、及び「Cx 共通形式変換データ抽出・演算ツール」を追加した。

1-2) レター広報WG

- ・ コミッシュヨニングレターは、主に会員に対する積極的な情報提供を目的として月1回の発行を継続した。昨年度も、毎月1日に計12回の発行を行った。

2) 経済産業省とのCxへの補助金に関する懇談

- ・ 経済産業省からの要請により、昨年度補助対象になった3件の事業に対するヒアリングに当協会としてオブザーバー参加が要請されたため参画した。また同省により次年度に向けた補助制度改良について懇談会が企画されたので意見を述べた。

3) 会員獲得活動

- ・ 個人会員数の増強に努めた。27名の新規入会者があり会員数は213名となった。
- ・ 各種団体にコミッシュヨニングの意義を理解して貰うよう賛助会員の獲得に努め、積極的に広報活動を展開した。賛助会員については2社1大学（東京電力エナジーパートナー、東京都サービス、神戸大学）の入会があった。

4) コミッシュヨニング事業者（CxF）登録制度の運用

- ・ CxFの登録制度を継続して運用した。

5) 講習会・セミナー事業

- ・ 前掲、(1) 人材育成事業、d)Cx 事例シンポジウム・Cx 研究会を参照。

(3) 調査研究・技術支援事業

a) 海外調査

米軍や防衛省からは、国内の Cx 実施体制に関してこれまで幾度か照会を受けている。今回は、沖縄で開催された第一回沖縄 SAME 会議 (Society of American Military Engineers) に招待講演者として参加し、当協会の活動及び、特に Cx 技術者への技術教育と資格認証について講演を行った。また、国内の米軍施設関係の Cx ニーズをヒアリングした。更に、技術者教育に関して協力の可能性を打診されたので、Cx 技術者教育には協力可能と回答した。これらの概要をコミッシュォニングレターや英文ブログに掲載し、会員への情報提供をおこなった。

b) 技術委員会

- ・ 空気調和・衛生工学会のコミッシュォニング委員会で開発したコミッシュォニングツールを維持・管理 (当協会ホームページ内に一般公開) するとともに、先端的な建築設備システムのコミッシュォニングの方法論を具体化し、コミッシュォニングの普及展開につなげた。
- ・ 昨年度は、NPO 法人地中熱利用促進協会と共に地中熱利用システムの機能性能試験法開発ワーキングを 3 回開催し、IKEA 福岡新宮における地中熱利用空調システムを事例に取り上げながら、地中熱利用システムの設計要件書と機能性能試験仕様書について検討した。検討した結果を元に 2017 年 2 月に NPO 法人地中熱利用促進協会共催の「地中熱利用システムのコミッシュォニング in 東京」を開くことにした。

(4) 基準制定・検証事業

2016 年度は、継続事業であった「建築設備性能検証マニュアル」の改訂を終結した。また、既存建物の熱源・空調システムの大改修工事のコミッシュォニング 1 件、ならびに、既存ビル空調システムの省エネルギー改修のコミッシュォニング事業 2 件を先導的な Cx 事業として受託し、これらの実践を通して得られる課題を抽出すると共に、ノウハウを蓄積し公開することによって、コミッシュォニングを通じた社会貢献と社会還元を図ることを目指した。

a) 建築設備性能検証マニュアルの改訂 WG

コミッシュォニングにおける体制や技術が著しく進化しているため、国内外の動向や技術に対応したマニュアルの改訂が必要と判断して 2014 年 1 月に作業を開始し、2016 年 8 月までの合計 11 回に渡るマニュアル改定委員会を経て、2016 年 11 月に新マニュアルを完成させ、販売を開始した。

b) 京都駅ビル熱源・空調改修工事の新築コミッシュォニング業務 (施工フェーズ)

- ・ 委託機関：京都駅ビル開発(株)
- ・ 事業実施：2015 年 1 月～2016 年 8 月(今年度実施期間 2016 年 4 月～2016 年 8 月)
- ・ 担当者：吉田治典 (CA)、松下直幹 (幹事)、柳原隆司、赤司泰義、下田吉之、杉浦修史、岡敦郎、山本雄二、矢部克明、中森彰、青山昌博、中村政治、西山満

本プロジェクトは、2009 年から続く先導的コミッシュォニングプロジェクトの施工フェーズの業務である。施工フェーズでは、施工が設計主旨文書や設計図で記載された通りの性能を発揮していることを特記仕様書 (性能検証) に則って確認することと、設計変更や VE に対する適切なアドバイスをを行うことや機器単体の機能性能試験が主な業務である。2015 年度は、VE 案、機器・シ

ステム仕様書、BEMS・自動制御システムの性能検証レビューと施工期間中に行う機能性能試験の計画・要領の検討を行ったが、2016年度に入ってから本フェーズ期間終了の8月までは、主に機器単体・個別の制御性能の機能性能試験を行った。なお、本業務は、2016年9月に竣工後一年間の「機能性能確認フェーズ」（以下のc)に記載)に引き継がれた。なお、本事業は、最終の適正化フェーズまで含めて国土交通省の住宅・建築物省CO2先導事業の補助金対象物件である。

c) 京都駅ビル熱源・空調改修工事の新築コミッションング業務（機能性能確認フェーズ）

- ・ 委託機関：京都駅ビル開発(株)
- ・ 事業実施：2016年9月～2017年9月(今年度実施期間 2016年9月～2017年4月)
- ・ 担当者：吉田治典（CA）、松下直幹（幹事）、柳原隆司、赤司泰義、下田吉之、杉浦修史、岡敦郎、山本雄二、矢部克明、中森彰、青山昌博、中村政治、西山満

b)の施工フェーズに続き、2016年9月から2017年9月までは、竣工後1年間で行う「機能性能確認フェーズ」を受託し、最終的に、施工対象である熱源・空調システムの省エネ60%削減を実現するため、機能性能試験・適正化を実施した。2017年3月時点で、概ね目標を達成できているが温熱システムに課題が残っている。

d) 京都駅ビルテナント空調換気改修工事コミッションング業務

- ・ 委託機関：京都駅ビル開発(株)
- ・ 事業実施：2016年5月～8月
- ・ 担当者：吉田治典、柳原隆司、赤司泰義、下田吉之、杉浦修史、岡敦郎、山本雄二、矢部克明、中森彰、青山昌博、松下直幹、中村政治、西山満

京都駅ビル熱源・空調改修工事関連の追加プロジェクトとして、麺類店舗が集まるエリア（拉麺小路）の空調・換気設備の改修工事に対するコミッションング業務を委託された。本設備は、京都駅ビルの百貨店エリアに位置し、百貨店の熱負荷に大きな影響を与えるため、熱源・空調更新工事のコミッションングと並行して実施した。

e) 沖縄科学技術大学院大学（OIST）研修棟・センター棟の既存コミッションング

調査フェーズにおける性能検証業務

- ・ 委託機関：沖縄科学技術大学院大学
- ・ 事業実施：2016年9月～2017年3月
- ・ 担当者：吉田治典（CA）、松下直幹（幹事）、柳原隆司、岡敦郎、西山満

2015年度末に実施したOISTの既存建物のコミッションングの企画・計画フェーズ後に、熱源システムと第2研究棟の調査フェーズを受託し実施した。コミッションング会議は、OISTの関係者、設備運転・管理者、CMTと共にCT（コミッションングチーム）を構成して2回開催した。なお、BEMSデータの整理・分析と各種関連の文書の作成の業務を、本協会の登録CxF（コミッションング事業者）に再委託し、これを上記CMTに加えて業務を行った。

2017年度は、本プロジェクトで行わなかった他2棟の調査フェーズ、及び今回実施した建物設備については、その報告書に基づく対策実施フェーズの実施が計画されている。

f) 神奈川県立近代美術館葉山館の空調熱源システムに関する既存コミッショニング業務

- ・ 委託機関：株式会社モマ神奈川パートナーズ
- ・ 事業実施：2017年1月～2017年4月(今年度実施期間 2017年1月～2017年3月)
- ・ 担当者：吉田新一（CA）、岡敦郎、須山喜美（幹事）

神奈川県立近代美術館葉山館は、神奈川県教育文化施設に関する PFI 事業として、SPC により運営されている施設である。SPC 運営期間のほぼ中間で、数年後には設備機器の大規模改修が予定されており、この改修計画の立案に向けて、既存の空調・熱源設備システムに関するコミッショニングを実施している。十分な分析データが無い中、コミッショニング会議は 5 回、現地調査は簡易な踏査を含めて 3 回実施し、3 段階の改修程度の異なる改修案を示す予定である。

g) 事業委員会

- ・ 昨年度、委員会活動はしていない。
- ・ 各種の先導的コミッショニング業務の受託をし、それらの活動成果やノウハウを、コミッショニングに関わる人材育成や実務資料の集成に役立てた。

(5) 理事会

- ・ 理事会を 7 回(うち電磁的方法による開催 4 回)開催し、総会付議事項、プロジェクト契約、性能検証技術者（CxPE）資格試験制度・登録制度規則改訂等を審議し決定した。

(6) 事務局WG

- ・ 事務局WGでは、事務作業の基盤整備を目的に、各処理作業の課題について検討し、順次作業手順を作成した。具体的には、理事役職者の互選と登記方法、委員委嘱状発行手順、名刺発行手順、CxPE 新制度に伴う周知方法、名刺発行手順 CxPE 新制度に伴う周知方法、会計処理方法などについて検討した。

(7) 委員会開催記録

| 委員会 | (5) 理事会 | (1-g) 認証検討委員会 及び 資格判定委員会 | (2-d) 企画・運営委員会 | (3-b) 技術委員会 | (4-g) 事業委員会 | (6) 事務局 WG |
|-----|--|---|---|--|----------------|---|
| 開催日 | 第1回:4/19 第2回:5/23 第3回:8/19 第4回:8/20 第5回:8/29 第6回:12/7 第7回:3/10 | 資格研修 小委員会 10/5、10/31 資格判定 委員会 3/29 | [企画運営委員会] 第1回 : 4/19 第2回 : 7/ 8 第3回 : 10/5 第4回 : 12/7 第5回 : 3/10 [マニュアル改訂 WG] 第9回 : 4/ 8・9 第10回 : 6/ 9 第11回 : 8/ 5・6 | 第1回 : 11/10 第2回 : 12/25 第3回 : 2/21 | | 第1回 : 6/17 第2回 : 9/21 第3回 : 12/1 第4回 : 3/2 |
| 回数 | 7回 | 3回 | 8回 (企画運営 : 5回) (マニュアル改定 WG : 3回) | 3回 | 0回 | 4回 |

4. 会計収支決算

2016年度 活動予算執行状況報告

建築設備コミッションング協会

2016年4月1日から2017年3月31日まで

(単位：円)

| 科目 | 2016年度決算 | | 2016年度 予算 | | | 備考欄 |
|-----------------|-------------------|----------|-------------------|----------------|-------------------|---------|
| | 特定非営利活動 | その他事業 | 特定非営利活動事業 | その他の事業 | 増減額 | |
| I 経常収益 | | | | | | |
| 1 受取会費 | | | | | | |
| 入会金収入 | 135,000 | 0 | 100,000 | 0 | 35,000 | |
| 正会員受取会費 | 1,952,000 | 0 | 2,150,000 | 0 | -198,000 | |
| 賛助会員受取会費 | 5,800,000 | 0 | 6,000,000 | 0 | -200,000 | |
| 小計 | 7,887,000 | 0 | 8,250,000 | 0 | -363,000 | |
| 2 受取寄附金 | | | | | | |
| 受取寄附金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 小計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 3 受取助成金等 | | | | | | |
| 受取民間助成金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 小計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 4 事業収益 | | | | | | |
| 1. 人材育成事業 | | | | | | |
| CxPE研修会 | 920,000 | 0 | 500,000 | 0 | 420,000 | PE受講者数増 |
| CxTE研修会(東京) | 369,000 | 0 | 532,500 | 0 | -163,500 | TE受講者数減 |
| CxTE研修会(大阪) | 266,000 | 0 | 510,000 | 0 | -244,000 | " |
| CxFシンポジウム(名古屋) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| Cx事例シンポジウム(東京) | 487,500 | 0 | 380,000 | 0 | 107,500 | |
| Cx事例シンポジウム(関西) | 495,000 | 0 | 380,000 | 0 | 115,000 | |
| Cx事例シンポジウム(名古屋) | 18,000 | 0 | 15,000 | 0 | 3,000 | |
| マニュアルの頒布 | 373,248 | 0 | 200,000 | 0 | 173,248 | |
| 技術交流会 | 110,000 | 0 | 150,000 | 0 | -40,000 | |
| Cx 集い | 220,000 | 0 | 200,000 | 0 | 20,000 | |
| 小計 | 3,258,748 | 0 | 2,867,500 | 0 | 391,248 | |
| 2. 普及事業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 3. 研究・支援事業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 4. 基準制定事業 | | | | | | |
| 京都駅ビルCx事業(施工) | 6,800,760 | 0 | 6,686,320 | 0 | 114,440 | |
| 京都駅ビルCx事業(機能) | 18,477,720 | 0 | 23,160,800 | 0 | -4,683,080 | |
| 京都駅ビルCx事業(テナント) | 3,132,000 | 0 | 0 | 0 | 3,132,000 | |
| 沖縄科技大Cx事業 | 4,998,000 | 0 | 6,000,000 | 0 | -1,002,000 | |
| 小計 | 33,408,480 | 0 | 35,847,120 | 0 | -2,438,640 | |
| 5. その他 | 0 | 0 | 0 | 300,000 | -300,000 | |
| 小計 | 36,667,228 | 0 | 38,714,620 | 300,000 | -2,347,392 | |
| 5 その他収益 | | | | | | |
| 受取利息 | 281 | 0 | 5,000 | 0 | -4,719 | |
| 雑収益 | 0 | 0 | 10,000 | 0 | -10,000 | |
| 小計 | 281 | 0 | 15,000 | 0 | -14,719 | |
| 経常収益計 | 44,554,509 | 0 | 46,979,620 | 300,000 | -2,725,111 | |

重要な会計重要な方針

(1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産の減価償却方法：定率法によっております。

無形固定資産の減価償却方法：定額法によっております。

(2) 消費税等の処理方法

税込経理によっております。

| 科目 | 2016年度決算 | | 2016年度 予算 | | | 備考欄 |
|-------------------|-------------------|----------|-------------------|----------------|-------------------|------------|
| | 特定非営利活動 | その他事業 | 特定非営利活動事業 | その他の事業 | 増減額 | |
| II 経常費用 | | | | | | |
| 1 事業費 | | | | | | |
| 1. 人材育成事業 | | | | | | |
| CxPE研修会 | 994,305 | 0 | 630,000 | 0 | 364,305 | |
| CxTE研修会(東京) | 119,239 | 0 | 305,000 | 0 | -185,761 | |
| CxTE研修会(大阪) | 160,341 | 0 | 420,000 | 0 | -259,659 | |
| Cx事例シンポジウム(東京) | 456,132 | 0 | 404,000 | 0 | 52,132 | |
| Cx事例シンポジウム(関西) | 416,418 | 0 | 404,000 | 0 | 12,418 | |
| Cx事例シンポジウム(名古屋) | 5,716 | 0 | 15,000 | 0 | -9,284 | |
| 総会付帯講演会 | 56,493 | 0 | 25,000 | 0 | 31,493 | |
| 技術交流会 | 227,326 | 0 | 230,000 | 0 | -2,674 | |
| Cx 集い | 233,160 | 0 | 200,000 | 0 | 33,160 | |
| 認証検討委員会 | 168,064 | 0 | 200,000 | 0 | -31,936 | |
| マニュアル頒布 | 15,530 | 0 | 0 | 0 | 15,530 | 送料等 |
| 小計 | 2,852,724 | 0 | 2,833,000 | 0 | 19,724 | |
| 2. 普及事業 | | | | | | |
| ホームページ | 809,341 | 0 | 1,150,000 | 0 | -340,659 | |
| コミッションングレターの発行 | 95,389 | 0 | 200,000 | 0 | -104,611 | |
| 空気調和・衛生工学会大会ブース出展 | 208,818 | 0 | 180,000 | 0 | 28,818 | |
| CxF登録制度小委員会 | 0 | 0 | 100,000 | 0 | -100,000 | |
| 企画・運営委員会及び広報担当 | 119,232 | 0 | 310,000 | 0 | -190,768 | |
| 小計 | 1,232,780 | 0 | 1,940,000 | 0 | -707,220 | |
| 3. 研究・支援事業 | | | | | | |
| 海外調査 | 84,668 | 0 | 182,800 | 0 | -98,132 | |
| 技術委員会 | 39,376 | 0 | 200,000 | 0 | -160,624 | |
| 小計 | 124,044 | 0 | 382,800 | 0 | -258,756 | |
| 4. 基準制定事業 | | | | | | |
| 京都駅ビルCx事業(施工) | 9,799,936 | 0 | 5,747,000 | 0 | 4,052,936 | 施工+テナントを計上 |
| 京都駅ビルCx事業(機能) | 11,099,232 | 0 | 19,694,000 | 0 | -8,594,768 | |
| 沖縄科技大Cx事業 | 4,230,178 | 0 | 5,150,000 | 0 | -919,822 | |
| 神奈川県立近代美術館Cx | 3,020 | 0 | 0 | 0 | 3,020 | |
| 事業委員会 | 0 | 0 | 50,000 | 0 | -50,000 | |
| マニュアル改訂 | 2,257,687 | 0 | 3,000,000 | 0 | -742,313 | |
| 小計 | 27,390,053 | 0 | 33,641,000 | 0 | -6,250,947 | |
| 5. その他 | 0 | 0 | 100,000 | 150,000 | -250,000 | |
| 事業費計 | 31,599,601 | 0 | 38,896,800 | 150,000 | -7,447,199 | |

| 科目 | 2016年度決算 | | 2016年度 予算 | | | 備考欄 |
|-------------------------|-------------------|----------|-------------------|------------------|-------------------|-----------------------------|
| | 特定非営利活動 | その他事業 | 特定非営利活動事業 | その他の事業 | 増減額 | |
| 2 管理費 | | | | | | |
| 旅費交通費 | 259,200 | 0 | 240,000 | 0 | 19,200 | |
| 通信運搬費 | 159,406 | 0 | 182,000 | 0 | -22,594 | |
| 消耗品費 | 70,123 | 0 | 30,000 | 0 | 40,123 | |
| 消耗什器備品 | 542,354 | 0 | 340,000 | 0 | 202,354 | 関西PC購入 |
| 会議費 | 195,520 | 0 | 188,000 | 0 | 7,520 | |
| 印刷製本費 | 62,357 | 0 | 55,000 | 0 | 7,357 | |
| 租税公課 | 443,100 | 0 | 440,000 | 0 | 3,100 | |
| 支払手数料 | 60,338 | 0 | 70,000 | 0 | -9,662 | |
| 雑費 | 5,000 | 0 | 0 | 0 | 5,000 | |
| 諸会費 | 162,929 | 0 | 45,000 | 0 | 117,929 | CPD登録費増 |
| 家賃 | 395,280 | 0 | 400,000 | 0 | -4,720 | |
| 修繕費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 予備費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 支払報酬 | 346,400 | 0 | 518,400 | 0 | -172,000 | マイソハ ⁺ -通年→12月から |
| 事務外注費 | 3,888,000 | 0 | 3,888,000 | 0 | 0 | |
| 減価償却費 | 410,092 | 0 | 350,000 | 0 | 60,092 | |
| 管理費計 | 7,000,099 | 0 | 6,746,400 | 0 | 253,699 | |
| 経常費用計 | 38,599,700 | 0 | 45,643,200 | 150,000 | -7,193,500 | |
| I, II 当期経常増減額 | 5,954,809 | 0 | 1,336,420 | 150,000 | 4,468,389 | |
| III 経常外収益 | | | | | | |
| 1 固定資産売却益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| IV 経常外費用 | | | | | | |
| 1 過年度損益修正損 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 2 固定資産除却損 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| III, IV 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 税引前当期正味財産増減額 | 5,954,809 | | 1,486,420 | 4,468,389 | | |
| 法人税、住民税及び事業税 | 63,600 | | 71,000 | -7,400 | | |
| 当期正味財産増減額 | 5,891,209 | | 1,415,420 | 4,475,789 | | |
| 前期繰越正味財産額 | 35,355,001 | | 35,355,001 | 0 | | |
| 次期繰越正味財産額 | 41,246,210 | | 36,770,421 | 4,475,789 | | |

2016年度 貸借対照表

建築設備コミッションング協会

2017年3月31日現在

(単位：円)

| 科 目 | 金 額 | | 備考 |
|---------------------|----------------|-------------------|-------------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1 流動資産 | | | |
| 現金及び預金 | 30,274,186 | | |
| 売掛金／未収金 | 0 | | |
| 棚卸資産 | 0 | | |
| 貯蔵品 | 0 | | |
| 前払費用 | 155,520 | | |
| 未収入金 | 16,546,440 | | |
| 仮払金 | 0 | | |
| 流動資産合計 | | 46,976,146 | |
| 2 固定資産 | | | |
| (1) 有形固定資産 | | | |
| 什器備品 | 105,940 | | |
| 有形固定資産計 | 105,940 | | |
| (2) 無形固定資産 | | | |
| ソフトウェア等 | 912,456 | | |
| 無形固定資産計 | 912,456 | | |
| (3) 投資その他の資産 | | | |
| 敷金 | 0 | | |
| 保証金 | 180,000 | | |
| 投資その他の資産計 | 180,000 | | |
| 固定資産合計 | | 1,198,396 | |
| 資産合計 | | | 48,174,542 |
| II 負債の部 | | | |
| 1 流動負債 | | | |
| 未払金 | 6,704,830 | | |
| 前受会費 | 90,000 | | |
| 預り金 | | | |
| 源泉所得税預り金 | 133,502 | | |
| 仮受金 | 0 | | |
| 流動負債合計 | | 6,928,332 | |
| 2 固定負債 | | | |
| | 0 | | |
| 固定負債合計 | | 0 | |
| 負債合計 | | | 6,928,332 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 前期繰越正味財産 | | 35,355,001 | |
| 税引後当期正味財産増減額 | | 5,891,209 | |
| 正味財産合計 | | | 41,246,210 |
| 負債及び正味財産合計 | | | 48,174,542 |

2016年度 財産目録

建築設備コミッションング協会

2017年3月31日現在

(単位：円)

| 科 目 | 金 額 | | 備 考 |
|------------------|----------------|-------------------|-----------|
| I 資産の部 | | | |
| 1.流動資産 | | | |
| 現金預金 | | | |
| 手元現金 | 0 | | |
| 三菱東京UFJ銀行普通預金 | 1,683 | | |
| 三菱東京UFJ銀行普通預金 | 6,030,350 | | |
| ゆうちょ銀行普通預金 | 241,446 | | |
| 三井住友銀行 | 4,263,894 | | |
| 池田泉州銀行 | 19,736,813 | 30,274,186 | |
| 未収金 | | | |
| 受託事業 売掛金 | 0 | | |
| 未収入金 | 16,546,440 | | 京都駅+沖縄科技大 |
| 貯蔵品 | 0 | | |
| 棚卸資産 | | | |
| 販売用図書 | 0 | | |
| 前払費用 | 155,520 | | 総会会場費 |
| 仮払金 | 0 | | |
| 流動資産合計 | | 46,976,146 | |
| 2.固定資産 | | | |
| (1) 有形固定資産 | | | |
| 什器備品 | 105,940 | | |
| 有形固定資産計 | 105,940 | | パソコン2台 |
| (2) 無形固定資産 | | | |
| ソフトウェアなど | 912,456 | | |
| 無形固定資産計 | 912,456 | | ホームページ |
| (3) 投資その他の資産 | | | |
| 敷金 | 0 | | |
| 保証金 | 180,000 | | |
| 投資その他の資産計 | 180,000 | | ATC保証金 |
| 固定資産合計 | | 1,198,396 | |
| 資産合計 | | 48,174,542 | |
| II 負債の部 | | | |
| 1.流動負債 | | | |
| 未払金 | 6,704,830 | | |
| 前受会費 | 90,000 | | |
| 預り金 | 0 | | |
| 源泉所得税預り金 | 133,502 | | |
| 仮受金 | 0 | | |
| 流動負債合計 | | 6,928,332 | |
| 2.固定負債 | | | |
| | 0 | | |
| 固定負債合計 | | 0 | |
| 負債合計 | | 6,928,332 | |
| 正味財産 | | 41,246,210 | |

5. 監査報告

2016年度の特定非営利活動法人 建築設備コミッションング協会の事業報告、活動計算書及び財産目録等について、関係書類と共にその内容を監査した結果、法令及び定款に照らして、適正であることを認めます。

2017年4月13日

監 事

高草 智

高橋 直樹

第2号議案「第14期事業計画(案)及び予算(案)に関する事項」

2017年度事業計画(案) (2017年4月1日から2018年3月31日まで)

1. 事業実施の方針

2017年度は、下記の活動を行い、社会に対してコミッショニングの意義を更に広め、かつ賛助会員組織には、コミッショニング事業を受託することを推進するための情報提供をして支援する。

企画・運営委員会は、当協会に関わる種々の課題を議論し、各課題のビジョンや方針が具体化した時点で担当委員会に課題を委譲する役目を果たすとともに、総会開催、事務処理の合理化などを掌握し、収支バランスを勘案しながら当協会の運営の要となる活動を行う。本年は、2年目となる事務作業の基盤整備作業の終結を目指し、事務局が種々のマターを主体的に判断し自律できるよう作業のマニュアル化を徹底する。またクラウドサーバを利用し委員会、シンポジウムなどの関連業務についてITを用いた効率化を推進する。

民間会社・官庁・大学などのビルオーナー、ならびに設計者団体、施工者団体などと懇談してコミッショニングの意義を説明し、どのようにすればよりコミッショニングが進展するかについて意見交換する。また、経産省との意見交換を続けてコミッショニングをバインドした省エネ改修への補助金事業への意見を述べ、補助金の制度設計に活かして頂くよう働きかける。引き続き先導的なコミッショニング事業を当協会が受託し、その有効性を様々な手法で社会に広めながら、課題の抽出、技術の開発に努めて公表し社会に還元する。

資格・登録関連の関連委員会では、昨年実施した、新たなマニュアルを用い新たな内容で再出発したCxPE資格登録のための研修会を今年度は東京で開催する。また、CxTE登録のための講習も東京・関西で独立して開催する。

技術委員会は、主として空気調和・衛生工学会のコミッショニング委員会と連携し、その成果を当協会に反映すると共に、新たなコミッショニング適用対象である、個別分散空調システムの機能性能試験とZEBのコミッショニングについて調査・研究する。コミッショニングツールのホームページによるダウンロード事業も更に充実するよう努める。

広報担当は、例年通り、会員サービスと社会啓発のため、ホームページ、ニュースレターを充実すると共に、日英ブログを通して国際発信を続ける。

種々の運営ならびにシンポジウムなどの交流活動を支部活動的に東京、関西、中部で独自に実施することは定着しつつある。本年度もこれを更に進めて、コミッショニング活動の輪をこれら3極で協力して広め、日本全体の、また国際的な、情報発信と交流を図る。また、空気調和衛生工学会などの協賛などを得て、3極以外の地域へも本協会の活動を広めるべく他都市でのシンポジウムを企画するよう努力する。

2. 事業実施計画に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業（非営利活動）

| 事業名 | 事業内容 | 実施月日 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 収支額（単位：円） | | |
|-----------------|---|------------------------------|----------------|-------------|-----------------|-----------------|-----------|--|
| | | | | | | 収入 | 支出 | |
| (1) 人材育成事業 | (1) セミナー開催等による性能検証に関する人材育成事業 | | | | 会員、市民、建築関係者 | 3,132,000 | 3,762,000 | |
| | シンポジウムや意見交換会・講演会を開催し、性能検証に関わる人材の育成と情報を提供するために下記を実施する。 | | | | | | | |
| | a) | CxPE 資格研修会 | 2017/12 | 東京 | 10名 | 10名 | | |
| | b) | CxTE 講習（関西） | 2017/10 | 堂島リバーフォーラム | 10名 | 30名 | | |
| | | CxTE 講習（東京） | 2017/11 | NSRI ホール | 10名 | 30名 | | |
| | c) | 総会付帯講演会 | 2017/5/10 | 中央大学 駿河台記念館 | 10名 | 60名 | | |
| | d) | Cx 事例シンポジウム・Cx 研究会（東京・関西・中部） | 2018/2 | 東京 | 10名 | 80名 | | |
| | | | 2018/3 | 京都 | 10名 | 80名 | | |
| | | | 2017/7 | 名古屋 | 10名 | 15名 | | |
| | | | 2017/9 | 四国 | 10名 | 80名 | | |
| | e) | Cx マニュアル（CD）の頒布 | 2017/4～2018/3 | BSCA 事務所 | 3名 | 30名 | | |
| f) | 技術交流会 | 2018/5/10 | 中央大学 駿河台記念館 | 10名 | 60名 | | | |
| | Cx に関心を持つ者の集い | 2017/9/14 | 高知県高知市 | 5名 | 40名 | | | |
| g) | 認証検討委員会及び資格判定委員会活動 | 2017/4～2018/3 | BSCA 事務所他 | 10名 | — | | | |
| (2) 性能検証普及事業 | (2) 会誌・ホームページ等による性能検証普及事業 | | | | 会員、市民、建築関係者、不特定 | 0 | 2,880,000 | |
| | 定期的に会誌やホームページによる広報を行い、最新情報を提供するため下記を実施する。 | | | | | | | |
| | a) | ホームページの整備充実 | 2017/4～2018/3 | 事務局 | 4名 | 約1000名 | | |
| | b) | コミッションングレターの発行 | 2017/4～2018/3 | 事務局 | 30名 | 約170名 | | |
| | c) | 空気調和・衛生工学会大会ブース出展 | 2017/9/13～9/15 | 高知工科大学 | 5名 | 約100名 | | |
| | d) | 企画・運営委員会活動 | 2017/4～2018/3 | BSCA 事務所他 | 23名 | — | | |
| (3) 調査研究・技術支援事業 | (3) 性能検証に関する調査研究及び技術支援事業 | | | | 会員、市民、建築関係者、不特定 | 0 | 305,000 | |
| | 実施マニュアルやツール等の整備を進め、同時に会員や一般市民への支援・広報を行う。公共的機関より性能検証、コミッションング過程に関する調査・研究業務を受託し、人材育成と基準文書整備に活用する。 | | | | | | | |
| | a) | 海外調査 | 2017/4～2018/3 | BSCA 事務所他 | 1名 | 会員、市民、建築関係者、不特定 | | |
| | b) | 技術委員会活動 | 2017/4～2018/3 | 東京大学 | 5名 | 建築関係者 | | |

| | | | | | | | | | |
|---------------|--|-----------------------------------|----------------|--------|-----------------|------------|------------|----------------|-----|
| (4) 基準制定・検証事業 | (4) 性能検証基準の制定及び性能検証事業 | | | 従事者の人数 | 会員、市民、建築関係者、不特定 | 34,095,880 | 30,722,000 | | |
| | マニュアル類の更なる向上と普及とを目指して、会員や一般市民等のための性能検証を実施する。 | | | | | | | | |
| | a) | 建築設備性能検証マニュアル校正WG | 2017/4～2018/3 | | | | | 東京 | 16名 |
| | b) | 京都駅ビル熱源・空調改修工事新築Cx業務（機能性能確認フェーズ） | 2016/8～2017/9 | | | | | BSCA事務所、京都駅ビル他 | 14名 |
| | c) | 京都駅ビル熱源・空調改修工事新築Cx業務（適正化フェーズ） | 2017/10～2019/9 | | | | | BSCA事務所、京都駅ビル他 | 14名 |
| | d) | 沖縄科学技術大学院大学第1・3研究棟の既存Cx業務（調査フェーズ） | 2017/4～2018/3 | | | | | 沖縄科学技術大学院大学 | 5名 |
| | e) | 神奈川県立近代美術館葉山館の空調熱源システムに関する既存Cx業務 | 2017/1～2017/4 | | | | | 神奈川県立近代美術館葉山館他 | 3名 |
| f) | 事業委員会活動 | 2017/4～2018/3 | BSCA事務所他 | 12名 | | | | | |

(2) その他の事業（営利事業）

| 事業名 | 事業内容 | 実施月日 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 収支額（単位：円） | |
|----------------------|---------------------|--------------------|------|--------|-----------------|-----------|---------|
| | | | | | | 収入 | 支出 |
| (1) 会誌・ホームページ等への広告掲載 | 会誌やホームページへの広告の募集を企画 | 2017/4/1～2018/3/31 | 事務局 | 2名 | 会員、市民、建築関係者、不特定 | 100,000 | 50,000 |
| (2) 出版事業 | 出版物の発刊を企画 | 2017/4/1～2018/3/31 | 事務局 | 1名 | 会員、市民、建築関係者、不特定 | 200,000 | 100,000 |

3. 活動計画の概要

非営利活動に関する活動計画の概要を述べる。

(1) 人材育成事業

a) CxPE（性能検証技術者）資格研修会

- ・ 12月中旬にCxPE（性能検証技術者）の資格研修会を東京にて開催する。
- ・ 講習の合理性を考慮して2日間開催とする。（講習1日、試験及び課題発表と討論会1日）
- ・ テキストは、マニュアル改訂版を使用する。

b) CxTE（性能検証専門技術者）講習（関西・東京）

- ・ 第6回目となるCxTE（性能検証専門技術者）講習会を、関西と東京で開催する。

c) 総会付帯行事を兼ねた講演会（2017年5月 東京）

中央大学駿河台記念館において、通常総会を開催するとともに講演会を実施する。講演では、芝浦工業大学教授秋元孝之氏に「ZEB/ZEHの関連動向」、東京都環境局地球環境エネルギー部課長代理大場教司氏に「東京都キャップ&トレード制度のトップレベル事業所におけるコミッションング」と題してご講演頂く計画である。

d) Cx事例シンポジウム・Cx研究会の開催（東京・関西・中部・四国）

CxPE資格者、CxTE登録者が行ったCx事例を紹介するCx事例紹介シンポジウムを東京・関西・中部・四国において開催するよう計画する。

e) Cxマニュアル（CD）の頒布

2016年11月に発行した「建築設備コミッションングマニュアル」の販売を継続する。

f) 「技術交流会」と「Cxに関心を持つ者の集い」

総会後に「技術交流会」を開催する。また、空気調和・衛生工学会大会に合わせ「コミッションングに関心を持つ者の集い」を開催する。

g) 認証検討委員会及び資格判定委員会活動

- ・ CxTE（性能検証専門技術者）講習会を開催する。これまでは第1回（2012年度）の時に作成した。講習資料や演習課題を継続して使用してきたが、講習コンテンツを刷新しバージョンアップする。特に、将来のコミッションングの担い手となる学生の参加も視野に入れた講習コンテンツを検討する。また、引き続きCxTE（性能検証専門技術者）とCxP（コミッションング事業者）の登録制度運用と普及について活動する。

（以上、認証検討委員会担当）

- ・ CxPE（性能検証技術者）の資格研修会を開催する。研究会開催後に、採点会議とCxPE資格研修小委員会および資格判定委員会を開催して、CxPE登録有資格者の判定を実施する。

（以上、資格判定委員会担当）

(2) 性能検証普及事業

a) ホームページの整備拡充

- ・ 一般閲覧者の増大を図るコンテンツの拡充を行う。
- ・ 日英広報ブログの記事を増やし、国際発信を強化する。
- ・ 一般閲覧者と会員との情報提供範囲を区分し、会員メリットを感じやすいしくみを構築する。

b) コミッショニングレターの発行

- ・ コミッショニングレターの月一回発行に向けた活動を継続する。

c) 空気調和・衛生工学会大会ブース出展

- ・ 空気調和・衛生工学会大会の開催期間中に協会の展示ブースを出展して広報活動を継続する。

d) 企画・運営委員会活動

1) 会員特典の整備

- ・ 会員限定の情報提供（Cx 文書事例、Cx ツールなど）を検討する。

2) CxTE 登録者の促進と CxF の登録の促進

- ・ CxTE 講習会の講習コンテンツの刷新と受講者（特に学生）の受講者を増やす。
- ・ Cx 事業の事例発表のシンポジウムなどで CxF 登録制度を広く紹介して登録の働きかけを行い、賛助会員の増加を図る。

3) 各種組織にコミッショニングの意義説明による普及活動

- ・ 経済産業省からの要請による助成制度検討のためのコミッショニングに関する意見交換WGの開催を計画する。
- ・ 個人並びに企業・大学の賛助会員の獲得および CxF（コミッショニング事業者）の促進に努めるため、各種団体にコミッショニングの意義を理解して貰うように、さらに積極的な広報活動と個別説明を展開する。
- ・ 公共部門や民間の建築オーナーに、省エネルギー・省 CO₂ 事業にコミッショニングプロセスが有効であることを説明し、省エネルギー・省 CO₂ 事業の施策の策定や運用に対するアドバイスを積極的に行う。
- ・ コミッショニングに関する調査・研究事業の受託を目指す。
- ・ 国及び地方行政庁よりコミッショニングの政策課題に関連する調査・実証研究などの受託を目指す。
- ・ 講習会やセミナーを企画して、コミッショニングの普及活動を実施する。
- ・ コミッショニング業務のビジネス展開を推進するため、経産省などと情報交換しながら業務のあり方・技術者の活用方法・技術者への報酬のあり方などについて、引き続き検討する。
(以上、企画・運営委員会担当)

(3) 調査研究及び技術支援事業

a) 海外調査

- ・ 他国のコミッショニング組織（NIST、PECI、BCA、APCBC など）とのコミッショニングに関する連携活動のあり方を探る。
- ・ 国際会議参加者や海外在住者からの情報収集活動を支援するとともに、全米コミッショニング会議（NCBC）等のレポートをコミッショニングレターに掲載し会員への情報提供を推進する。

b) 技術委員会活動

- ・ 空気調和・衛生工学会のコミッショニング委員会に新たに設置される小委員会の技術課題に対して、協調・連携してコミッショニングの普及展開に必要となる技術課題に取り組み、その成果をリソースとして整備し公開していく。
- ・ 学生や若手研究者の見学会や勉強会（論文等レビューなど）を実施し、次世代の間でコミッショニングに関する情報共有を進める。
（以上、技術委員会担当）

(4) 基準の制定及び検証事業

a) 建築設備性能検証マニュアル校正 WG

- ・ 昨年度に発行した「建築設備コミッショニングマニュアル」の校正を実施し、一般への冊子販売を検討する。
（以上、企画・運営委員会担当）

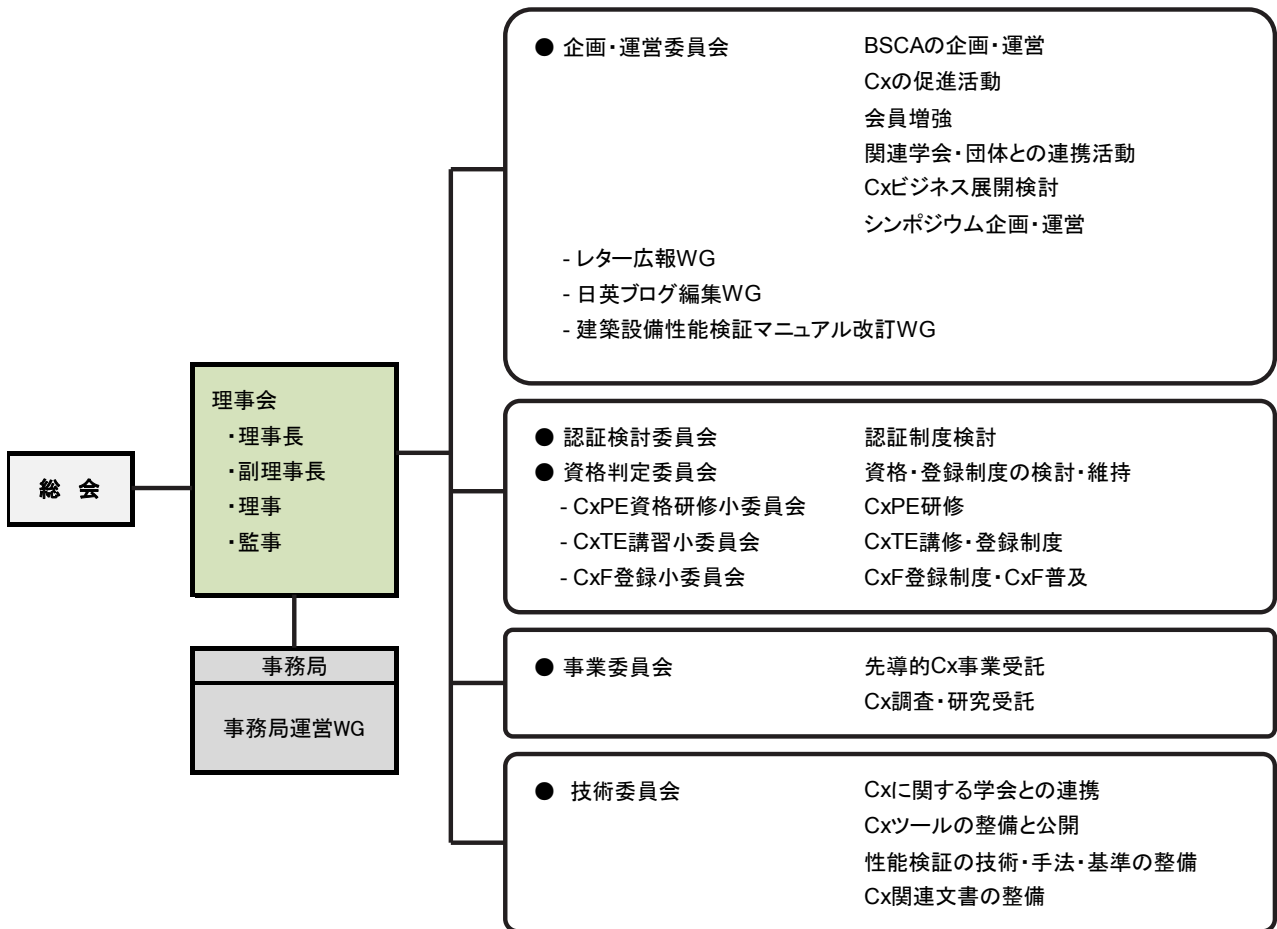
b, c, d, e) 各種先導的コミッショニング事業の受託

- ・ 各種の先導的コミッショニング業務の受託、並びに調査研究委託業務を引き続き実施し、それらの活動成果やノウハウをコミッショニングに関わる人材育成や実務資料の集成に役立たせるための知的資産とする。
- ・ 上記の先導的コミッショニング受託業務に CxPE や CxTE の参画を募り、人材育成支援に資することを旨として、当協会における先導的コミッショニング事業の受託方法を整備する。

f) 新たなコミッショニング関連業務の開発に努力する。

（以上、事業委員会担当）

[組織図]



2017年度 活動予算

2017年4月1日から2018年3月31日まで

(単位：円)

| 科目 | 2017年度 予算 | | 2016年度 予算 | | 増減額 | 備考欄 |
|----------------|-------------------|----------------|-------------------|----------------|-------------------|-----|
| | 特定非営利活動 | その他事業 | 特定非営利活動事業 | その他の事業 | | |
| I 経常収益 | | | | | | |
| 1 受取会費 | | | | | | |
| 入会金収入 | 100,000 | 0 | 100,000 | 0 | 0 | |
| 正会員受取会費 | 2,150,000 | 0 | 2,150,000 | 0 | 0 | |
| 賛助会員受取会費 | 6,000,000 | 0 | 6,000,000 | 0 | 0 | |
| 小計 | 8,250,000 | 0 | 8,250,000 | 0 | 0 | |
| 2 受取寄附金 | | | | | | |
| 受取寄附金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 小計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 3 受取助成金等 | | | | | | |
| 受取民間助成金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 小計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 4 事業収益 | | | | | | |
| 1. 人材育成事業 | | | | | | |
| CxPE研修会 | 640,000 | 0 | 500,000 | 0 | 140,000 | |
| CxTE研修会(東京) | 540,000 | 0 | 532,500 | 0 | 7,500 | |
| CxTE研修会(関西) | 352,000 | 0 | 510,000 | 0 | -158,000 | |
| Cx事例シンポジウム(東京) | 380,000 | 0 | 380,000 | 0 | 0 | |
| Cx事例シンポジウム(関西) | 390,000 | 0 | 380,000 | 0 | 10,000 | |
| Cx事例シンポジウム(中部) | 30,000 | 0 | 15,000 | 0 | 15,000 | |
| Cx事例シンポジウム(四国) | 250,000 | 0 | 0 | 0 | 250,000 | |
| マニュアルの頒布 | 200,000 | 0 | 200,000 | 0 | 0 | |
| 技術交流会 | 150,000 | 0 | 150,000 | 0 | 0 | |
| Cx 集い | 200,000 | 0 | 200,000 | 0 | 0 | |
| 小計 | 3,132,000 | 0 | 2,867,500 | 0 | 264,500 | |
| 2. 普及事業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 3. 研究・支援事業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 4. 基準制定事業 | | 0 | | | | |
| 京都駅ビルCx | | | | | | |
| 熱源更新施工フェーズ | 0 | 0 | 6,686,320 | 0 | -6,686,320 | |
| 熱源更新機能性能確認フェーズ | 12,831,000 | 0 | 23,160,800 | 0 | -10,329,800 | |
| 熱源更新最適化フェーズ | 10,000,000 | 0 | 0 | 0 | 10,000,000 | |
| 沖縄科学技術大学院大学 | | | | | | |
| 研究棟・センター棟既存Cx | 0 | 0 | 6,000,000 | 0 | -6,000,000 | |
| 第1・3研究棟既存Cx | 7,500,000 | 0 | 0 | 0 | 7,500,000 | |
| 神奈川県立美術館 | 3,764,880 | 0 | 0 | 0 | 3,764,880 | |
| 小計 | 34,095,880 | 0 | 35,847,120 | 0 | -1,751,240 | |
| 5. その他 | 0 | 300,000 | 0 | 300,000 | 0 | |
| 小計 | 37,227,880 | 300,000 | 38,714,620 | 300,000 | -1,486,740 | |
| 5 その他収益 | | | | | | |
| 受取利息 | 5,000 | 0 | 5,000 | 0 | 0 | |
| 雑収益 | 10,000 | 0 | 10,000 | 0 | 0 | |
| 小計 | 15,000 | 0 | 15,000 | 0 | 0 | |
| 経常収益計 | 45,492,880 | 300,000 | 46,979,620 | 300,000 | -1,486,740 | |

| 科目 | 2017年度 予算 | | 2016年度 予算 | | 増減額 | 備考欄 |
|-------------------|-------------------|----------------|-------------------|----------------|-------------------|-----|
| | 特定非営利活動 | その他事業 | 特定非営利活動事業 | その他の事業 | | |
| II 経常費用 | | | | | | |
| 1 事業費 | | | | | | |
| 1. 人材育成事業 | | | | | | |
| CxPE研修会 | 720,000 | 0 | 630,000 | 0 | 90,000 | |
| CxTE研修会(東京) | 760,000 | 0 | 305,000 | 0 | 455,000 | |
| CxTE研修会(関西) | 660,000 | 0 | 420,000 | 0 | 240,000 | |
| Cx事例シンポジウム(東京) | 295,000 | 0 | 404,000 | 0 | -109,000 | |
| Cx事例シンポジウム(関西) | 370,000 | 0 | 404,000 | 0 | -34,000 | |
| Cx事例シンポジウム(中部) | 22,000 | 0 | 15,000 | 0 | 7,000 | |
| Cx事例シンポジウム(四国) | 250,000 | 0 | 0 | 0 | 250,000 | |
| マニュアルの頒布 | 30,000 | 0 | 0 | 0 | 30,000 | |
| 総会付帯講演会 | 25,000 | 0 | 25,000 | 0 | 0 | |
| 技術交流会 | 230,000 | 0 | 230,000 | 0 | 0 | |
| Cx 集い | 200,000 | 0 | 200,000 | 0 | 0 | |
| 認証判定委員会 | 200,000 | 0 | 200,000 | 0 | 0 | |
| 小計 | 3,762,000 | 0 | 2,833,000 | | 929,000 | |
| 2. 普及事業 | | | | | 0 | |
| ホームページ | 2,090,000 | 0 | 1,150,000 | 0 | 940,000 | |
| コミッションングレターの発行 | 200,000 | 0 | 200,000 | 0 | 0 | |
| 空気調和・衛生工学会大会ブース出展 | 180,000 | 0 | 180,000 | 0 | 0 | |
| CxF登録制度小委員会 | 100,000 | 0 | 100,000 | 0 | 0 | |
| 企画・運営委員会及び広報担当 | 310,000 | 0 | 310,000 | 0 | 0 | |
| 小計 | 2,880,000 | 0 | 1,940,000 | | 940,000 | |
| 3. 研究・支援事業 | | | | | 0 | |
| 海外調査 | 105,000 | 0 | 182,800 | 0 | -77,800 | |
| 技術委員会 | 200,000 | 0 | 200,000 | 0 | 0 | |
| 小計 | 305,000 | | 382,800 | | -77,800 | |
| 4. 基準制定事業 | | | | | | |
| 京都駅ビルCx | | | | | | |
| 熱源更新施工フェーズ | | | 5,747,000 | 0 | -5,747,000 | |
| 熱源更新機能性能確認フェーズ | 11,431,000 | 0 | 19,694,000 | 0 | -8,263,000 | |
| 熱源更新最適化フェーズ | 9,020,000 | 0 | | | 9,020,000 | |
| 沖縄科学技術大学院大学 | | | | | | |
| 研究棟・センター棟既存Cx | | | 5,150,000 | 0 | -5,150,000 | |
| 第1・3研究棟既存Cx | 6,375,000 | 0 | | | 6,375,000 | |
| 神奈川県立美術館 | 3,046,000 | 0 | | | 3,046,000 | |
| 事業委員会 | 50,000 | 0 | 50,000 | 0 | 0 | |
| マニュアル校正 | 800,000 | 0 | 3,000,000 | 0 | -2,200,000 | |
| 小計 | 30,722,000 | 0 | 33,641,000 | 0 | -2,919,000 | |
| 5. その他 | 100,000 | 150,000 | 100,000 | 150,000 | 0 | |
| 事業費計 | 37,769,000 | 150,000 | 38,896,800 | 150,000 | -1,127,800 | |

| 科目 | 2017年度 予算 | | 2016年度 予算 | | 増減額 | 備考欄 |
|-------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-----|
| | 特定非営利活動 | その他事業 | 特定非営利活動事業 | その他の事業 | | |
| 2 管理費 | | | | | | |
| 旅費交通費 | 240,000 | 0 | 240,000 | 0 | 0 | |
| 通信運搬費 | 182,000 | 0 | 182,000 | 0 | 0 | |
| 消耗品費 | 260,000 | 0 | 30,000 | 0 | 230,000 | |
| 什器備品 | 0 | 0 | 340,000 | 0 | -340,000 | |
| 会議費 | 254,500 | 0 | 188,000 | 0 | 66,500 | |
| 印刷製本費 | 70,000 | 0 | 55,000 | 0 | 15,000 | |
| 租税公課 | 440,000 | 0 | 440,000 | 0 | 0 | |
| 支払手数料 | 70,000 | 0 | 70,000 | 0 | 0 | |
| 雑費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 諸会費 | 200,000 | 0 | 45,000 | 0 | 155,000 | |
| 家賃 | 400,000 | 0 | 400,000 | 0 | 0 | |
| 修繕費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 予備費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 支払報酬 | 420,000 | 0 | 518,400 | 0 | -98,400 | |
| 事務外注費 | 3,888,000 | 0 | 3,888,000 | 0 | 0 | |
| 減価償却費 | 355,000 | 0 | 350,000 | 0 | 5,000 | |
| 管理費計 | 6,779,500 | 0 | 6,746,400 | 0 | 33,100 | |
| 経常費用計 | 44,548,500 | 150,000 | 45,643,200 | 150,000 | -1,094,700 | |
| I, II 当期経常増減額 | 944,380 | 150,000 | 1,336,420 | 150,000 | -392,040 | |
| III 経常外収益 | | | | | | |
| 1 固定資産売却益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| IV 経常外費用 | | | | | | |
| 1 過年度損益修正損 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| III, IV 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 税引前当期正味財産増減額 | | 1,094,380 | | 1,486,420 | -392,040 | |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 71,000 | | 71,000 | 0 | |
| 当期正味財産増減額 | | 1,023,380 | | 1,415,420 | -392,040 | |
| 前期繰越正味財産額 | | 41,246,210 | | 41,246,210 | 0 | |
| 次期繰越正味財産額 | | 42,269,590 | | 42,661,630 | -392,040 | |

第3号議案「役員の改選に関する事項」

1. 理事の新任に関する事項

新任理事 松下直幹君

推薦の理由 特定非営利活動法人建築設備コミッションング協会理事会よりの推薦

松下直幹君の略歴

昭和43年7月2日生、現職 株式会社アレフネット 事業統括部長

BSGA 特定非営利活動法人
建築設備コミッショニング協会
Building Services Commissioning Association

〒559-0034

大阪市住之江区南港北 2-1-10ATC/ITM 棟 11 階
Tel: 06-6614-0880 Fax: 06-6616-7098

URL: <http://www.bsca.or.jp/>